現地農業情報（沖永良部島・与論島）令和５年５月

（１）さとうきびハカマロールサイレージ給与調査を実施

さとうきびと肉用牛の耕畜連携による粗飼料確保に向けて，奄美群島の全島で実施しているさとうきびハカマロールベールサイレージの給与調査を，５月中旬に知名町と与論町の肉用牛農家２戸で行いました。今回は，さとうきび収穫後のハカマや梢頭部を約４か月間サイレージ発酵させ，母牛に給与し，嗜好性の調査を行いました。２戸とも通常給与している既存粗飼料とほぼ遜色がない嗜好性を確認し，今後の新たな自給粗飼料として期待が高まる結果となりました。

（２）「第１回よろん和牛女子定期総会」開催後，技術研さんを図る

５月10日，与論町役場で「よろん和牛女子」の総会が会員12人全員出席のもと開催されました。当組織は，農業普及課が働きかけ，令和４年８月に畜産に携わる女性で組織化されました。総会において会長は，「各種研修会や相互の牛舎視察，セリ市でのＰＲ活動などを行いながら親睦を深め，自らの経営や与論町の畜産を活性化していきたい」と抱負を語りました。総会終了後，農業共済組合南大島支所与論事務所の獣医師による母牛分娩時の管理について研修を行い，技術研さんを図りました。